

サンシャインだより



ふるさとふれあい展へ出かけました (3ページに関連記事)

社会福祉法人 サンシャイン福祉振興会

特別養護老人ホームサンシャイン美濃白川(本部)
サンシャイン美濃白川デイサービスセンター
サンシャイン美濃白川居宅介護支援事業所

〒509-1106 岐阜県加茂郡白川町坂ノ東5500番地1

TEL(0574)75-2340 FAX(0574)75-2888

地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川

〒509-1105 岐阜県加茂郡白川町河岐2番地4

TEL(0574)74-1171 FAX(0574)74-1172

グループホームかわばた荘

〒509-1106 岐阜県加茂郡白川町坂ノ東5467番地1

TEL(0574)75-2699 FAX(0574)75-2566

佐見デイサービスセンターせせらぎ園

〒509-1222 岐阜県加茂郡白川町下佐見2510番地2

TEL(0574)76-0033 FAX(0574)76-2177



サンシャイン美濃白川

敬老会

9月13日、各施設で今年も盛大に敬老会が催されました。

午前中の記念式典では、白寿と米寿の方を紹介し、入居者みなさんの長寿をお祝いしました。白川町長から代表の方へ記念品が贈呈され、入居者代表の挨拶では、ご家族や施設の職員への感謝の気持ちを述べられました。

昼食は手作りの特製お祝い弁当をご家族と一緒に召し上がり、午後からはそれぞれの施設で趣向を凝らしたアトラクションを楽しめました。

サンシャインでは昨年に引き続き、入居者参加型の劇を行いました。今年の演目は「大きなかぶ」でした。原作には出てこない、息子、息子の嫁、近所のおばさん、猿、白熊が登場し、様々なアレンジを加えた内容で、笑い声や歓声が上がリ、大いに盛り上がりました。劇に参加された利用者から「こんなことをやらせてもらえて、嬉しかったし、楽しかった」との感想をいただきました。

みなさんの益々のご長寿をお祈りしております。



サロン活動報告

2017年度から『ふれあいいきいきサロン』の方々があいランド美濃白川で活動をおこなってられます。

今年度は、10のサロン、125名が参加されました。研修室ではお茶を飲みながら自宅での介護や介護予防、入所についてのお話をされていました。生活相談員がみなさんの話を伺い疑問・質問にお答えしました。午後からは、それぞれの活動をおこなっていただきました。

今年度の活動状況

名 称	参加人数	活動内容
稲中サロン	7 名	施設見学
大利サロン	19 名	カラオケ
下油井サロン	14 名	本の紹介と DVD 鑑賞
中川サロン	11 名	カラオケ・イントロクイズ
柿反上サロン	9 名	岐阜ヤクルトによるセミナー
成山サロン	10 名	岐阜ヤクルトによるセミナー
奥新田サロン	11 名	施設見学
野原サロン	14 名	本の紹介と DVD 鑑賞
ひまわりサロン	20 名	生活相談員によるミニ講座・茶話会
大口女子会	10 名	施設見学



▲お茶を飲みながら介護相談



▲「久しぶりやね、私のこと覚えてる？」

サロン参加者の感想を紹介します

あいランドは、静かな環境で職員が入居者の方にゆったりと関わっておられ、とてもいい雰囲気でした。居室には入居者の馴染みの物や家族の写真などがあり、安心して過ごせるようになっているんだなあと感じました。

研修室にはたくさんの専門書が並べられていました。カラオケには歌謡曲に合わせた体操があり、楽しく歌って体を動かすことができました。また機会があったら使わせていただきたいと思います。

大利サロン世話人

佐見デイサービスセンター せせらぎ園の取り組み



▲ぬいぐるみたちが勢揃い

作品展に向けての活動
せせらぎ園では、日常的に様々な作品作りに取り組んできました。その中でも裁縫はたいへん好評で、みなさん熱心にされています。「早く縫いたい」と、脳トレのプリントを急いで解かれる方、周りの方が食後に休息されていても、待ちきれない様子で縫い物を始められる方もいらつしやいます。一度始められると時間を忘れて黙々と続けられる方がほとんどで、声をお掛けしても手が止まりません。

ふるさとふれあい展やふくし展に向けて、フクロウや来年の干支のネズミのぬいぐるみや、座布団などを楽しみながら制作しました。ひとつの作品をみなさんで作るうと、縫い物が苦手な方には型を取ったり、綿を詰めたりする作業をしていただきました。今年の作品展は終わったばかりですが、「来年はパッチワークで大きな物を作りたいな」と今から構想が膨らんでいるようです。



▲座布団作りの様子



▲テーブルを囲んでの交流

お気遣いありがとうございます
せせらぎ園に「何かお手伝いできることはないですか、お役に立てればいいのですが」と嬉しいご連絡をいただきました。是非にとお願いすると5名の方が来てくださいました。雑巾作りをおこなったり、窓拭きや掃除なども快くおこなってくださいました。ボランティアの方は地元の方なので利用者との会話も弾みます。今後も毎月第一木曜日に来てくださるとのことです。これからも地域の方と気軽に交流できるせせらぎ園であるよう努めていきたいと思ひます。

年末年始の営業についてお知らせします ○は営業日です

	12/28(土)	12/29(日)	12/30(月)	12/31(火)	1/1(水)	1/2(木)	1/3(金)	1/4(土)
サンシャイン美濃白川 デイサービスセンター	○	○	○	×	×	×	○	○
佐見デイサービスセンター せせらぎ園	○	×	×	×	×	×	×	○

もしもに備えて

～大田自治会との合同夜間消防訓練～

昨今、日本各地で想定外と言われる災害が多発しています。白川町でも昨年の豪雨による飛騨川の増水は記憶に新しいのではないのでしょうか。

ではそういった災害の時、入居されている方に対して私たちは何ができるのでしょうか。

毎年2回行われる消防訓練のうち、秋に行われる夜間を想定した消防訓練が、近隣住民の方々のご協力を得て9月21日にサンシャイン美濃白川とかわばた荘合同で行われました。

サイレンの後、地域の方が施設内に入り、職員と協力して入居者を避難させたり、消火器や消火栓で消火活動をしたりします。これは普段近所にあっても立ち入る機会がなかなかない施設で、もしもの事態が起こった場合、地域の方と職員とが協力して入居者の救出を円滑に進めることができるようにとの訓練でもあります。

今回は消防避難訓練でしたが、災害はいつ、どんな形で起こるかわかりません。実際、昨年の河川の増水は想定しておらず、急遽の判断であいらんどとかわばた荘の入居者の避難が始まりました。そのため水害に対する訓練も必要なのではないかとの意見があがり

ました。

もしもの時、お互いが慌てず助け合える関係であるために、普段からこういった訓練がいかに大切か考えさせられる良い機会となりました。

今後も地域の方と連携を図りながら入居者の安全を確保していきたいと考えています。



▲2018年7月8日 見たことのない飛騨川の水位でした

サンシャイン

周辺探訪

坂ノ東「村君」

「村君」は、坂ノ東のいちばん北に位置し、世帯数は20軒弱。下呂市金山町に接する飛騨川に面したコンパクトな集落です。

昭和4年、飛騨川に「坂東橋」が架かるまで、対岸の「油井」へは「吊り越し」で渡っていました。そしていまの国道41号線と同様、古くから飛騨へと続く街道が集落を通っていました。その街道沿いに、小さな薬師堂と観音堂が建っています。

薬師堂には「腹痛によく効く」との言い伝えがあります。薬師堂の外にある「南無阿弥陀仏」の碑の前には、真ん中がくぼんだ小さな河原石が幾つも供えてありまし



▲供えられている「へそ」の河原石



▲観世音菩薩像

た。くぼみは「へそ」を表しており、石を彫って供える参拝者もあったようです。

また、観音堂には観世音菩薩像（2体）の他、庚申と上流から流れてきたという仏像が祀られています。昔はここで夕暮れを迎えた旅人が泊まって行くこともあったようです。

薬師堂や観音堂には江戸時代の寄進札板が掲げられています。坂ノ東の各村（集落）や油井村の他、天領であった飛騨の村からの寄進名を見ることができます。

村君という地名の由来ははっきりしませんが、ここに有力な長（おさ）がいたのかもしれない。

社会福祉
社会保障

は、いま

19

年金検証

2019年10月から消費税率が10%に引き上げられました。2022年、団塊の世代が後期高齢者に加わります。年金、医療、介護等の各制度はどうなっているのか、気がになります。

今年7月、金融庁審議会が「老後の生活費2千万円不足」という報告書を出し、国民の関心を集めました。年金の財政検証（5年ごとに実施するが、今回は8月に公表。以下、検証）を読み込むと今後の年金水準が見えてきます。

年金は今後、いくら受給できるのか。政府が示しているモデル世帯でみると、公的年金の受給額は夫婦22万円だといっています。しかし、実際は国民年金だけの場合、平均受給額は約5万円、うち、4万円未満は約3割となっています。これが現実です。具体的な年金水準は検証によると

経済の好調・不振の6モデルで見通しており、現役世代の平均手取り収入に対するモデル世帯の年金額の割合（所得代替率）を中央値のモデルで見ると50・8%になっています。経済が不振であれば36～38%程度まで下がることもあり、そこに「マクロ経済スライド」という物価や賃金よりも年金水準を下げる仕組みが加わっています。つまり、今後の年金水準の方向は上がる要素がなく、どこまで下がるかが焦点になっているかがわかります。

そこで年金水準を上げるために、政府が試算していることは何か。例えば、国民年金の保険料納付期間の上限を今の40年から45年にする。あるいは、厚生年金の受給開始年齢を繰り下げて65歳から75歳にしてはどうか。また、パートの厚生年金拡大を図る等が試算されています。

「老後の生活費2千万円

不足」が現実味を持ち始めている中で、政府は、給として、働いて一定の収入があれば厚生年金をカットする「在職老齢年金制度」を見直すといっています。今後の方向は、70歳を超えても就労を前提とする「自助モデル」が政策の基調となり、年金納付期間の延長や受給額の調整を図る方向に動いています。

医療はどうでしょうか。一般的には、医療機関で支払う自己負担は10%から20%に、外来受診料の自己負担化が論点になっています。介護保険は利用者負担が10%から20%に、軽度者を介護保険から外すこと等が考えられています。

この時代、まず自らの年金がいくらになるのか。家族の年金はどうか。お互いに調べてみませんか。今後の医療、介護の在り方を話し合う場と機会を作りたいものだと考えています。

（社会福祉法人

大友信勝

サンシャイン福祉振興会理事長・

聖隷クリストファー大学

大学院教授）

文芸コーナー



父を見に行く秋雨のサンシャイン 今井康子

こおろぎの細き音色に誘われて 仰ぐ夕月またたくような とくよ

ほ、ずきを真剣の友とし種子を出す 宮豆

倒れても耐えて尚起つ秋桜 千枝

愚痴などは言ってならぬと自己を責め 猫に話してひととき楽のし 秀子

虫のコーラス夢路へ誘う秋の夜長の 月明かり 柳子

神無月落葉つまれし焚火恋し いね

